

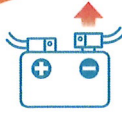
ちょっとしたミスが
発火原因に!

車両火災にご注意ください

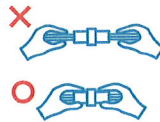
車両火災の原因の多くは、バッテリーの交換作業や後付け電装品の配線ミスによるものです。

ヨコ注意 1 後付け電装品などの電気系統のトラブル

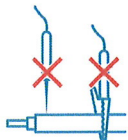
部品の取り付けなどは必ず整備解説書をご確認のうえ、作業を行ってください



電気系統の整備はショートによる焼損を防ぐために、事前にバッテリーの(-)バッテリーケーブルを取り外します。バッテリーケーブルを脱着する際は、半導体部品を破損する恐れがあるため、必ずスターター・スイッチ及びライティング・スイッチを切ってから行ってください。



コネクターを取り外す場合は断線を防ぐために、ハーネスではなくコネクターを引っ張ります。ロック式のコネクターを取り外す際は、ロックを外した状態でコネクターを引っ張ります。



テストバーまたは電検ランプ計などにより電線絶縁部が損傷すると、特にシャシーハーネスの早期腐蝕の原因となるため、計刺による電検作業は絶対に行わないでください。

目視点検を行います



コネクターのピンストッパーが破損していると、コネクター本体は結合できてもターミナル部(オス、メス端子)は結合不完全となり、端子が抜け出てしまう場合があります。ハーネスを1本1本軽く引っ張り、端子がコネクターから抜け出ていないことを確認します。



ねじれ配線やヒューズ無し配線が原因で、車両火災が発生した事例も報告されています!

なので後付け電装品などは付けないようにして下さい!

ヨコ注意 2 フレームと荷箱間の物入れ設置(改造)のトラブル

車両のフレームと荷箱間のスペースを角材入れ等を利用する場合がありますが、この周辺には排気管のテールパイプが配管されています。角材等収納時にはテールパイプとの隙間がほとんどなくなり、テールパイプからの熱により出火する恐れがあります。

物入れを設置(改造)する際は、テールパイプと近接する部位の構造対策を念入りに行ってください



キャブと荷台の間にロープやほろの先端を垂らさない、荷台とフレームの間に板等の燃えやすい物を差し込まないなど、構造対策はもちろんです。荷物の種類や積み方に配慮すれば、より確実な火災防止につながります。

ヨコ注意 3 エンジンルーム内の置き忘れ

エンジンルームにウエスやタオル、軍手などを置き忘れると、エンジンの熱で発火する場合があります。特に油のしみ込んだ布は発火しやすいので注意してください。

ここにも要注意!

車内にライターやスプレー缶が放置されていないか、灰皿が吸い殻でいっぱいになっていないか確認しましょう。

ヨコ注意 4 エンジンオイルの劣化によるトラブル

劣化したエンジンオイルを使用するとエンジンが破損し最悪の場合火災に至る恐れがあります。お車を長期間使用する場合だけでなく、エンジンが十分温まらない短時間の使用においてもオイルの劣化は進行します。オイル量や汚れについて日常点検でのチェックと定期的なオイル交換が必要です。

ここにも要注意!

オイルフィルターの変換も忘れずに行いましょう!

豆知識

交差点を曲がろうとウィンカーレバーを動かすとカチカチと点滅する間隔が減茶苦茶早くなっていた事ありませんか? これはウィンカーランプのどこかが切れてしまった現象です。電球を取り替えれば元通りになります。

菱神運輸株式会社
オートサービス
 〒658-0031 神戸市東灘区向洋町東2-1-3
 営業時間…AM8:30~PM4:30
 H P…http://www.ryoushin-trans.co.jp/
 Emai…auto-service@ryoushin-trans.co.jp
TEL:078-857-0700